



答 申 第 1 号  
平成 22 年 11 月 8 日

岩沼市長 井 口 経 明 殿

岩沼市行政評価委員会  
委員長 阿留多伎 真人

岩沼市行政評価委員会による評価について（答申）

平成 22 年 8 月 9 日付けで諮問のあったこのことについて、平成 21 年度の行政評価を行ったので、下記のとおり付帯意見を添えて答申します。

#### 記

##### 1 答申

当委員会は、岩沼市が新総合計画に基づいて実施した各種政策及び施策を構成する事務事業の妥当性、有効性などについて、外部の視点から評価を実施してまいりました。

今年度は、市が内部評価を行った 315 事業から委員会において選定した 10 事業について、評価を行った結果、「廃止・休止」1 事業、「改善（見直し）」2 事業、「維持」4 事業、「強化」3 事業となりました。各事業の評価詳細については、別紙のとおりです。

この評価内容を十分に検討され、次年度以降の市の事務事業の改善に努めることにより、市の政策及び施策の充実が図られるよう期待します。

また、岩沼市の行政評価制度について、今回「岩沼版事業仕分け」を試行として実施しましたが、今後も効率的で質の高い行政、市民にわかりやすい行政を推進するため、より一層の工夫、改善に取り組まれるよう願います。

## 2 付帯意見

### (1) 岩沼版事業仕分け結果について

- ・ 10事業で評価委員が同じ評価になったのは1事業のみであり、他の事業については各委員の評価にばらつきがある。今回は、委員の多数決によって事業評価の結果としたが、各委員からの意見を踏まえて方向性を決定していただきたい。
- ・ 今回の事業仕分けは、事務事業に対して市民目線の評価を行った結果である。これまでの内部評価とは異なった視点もあることを考慮し、今後の事務事業について検討していただきたい。

### (2) 岩沼版事業仕分け手法について

- ・ 傍聴される方が非常に多く、市の事業に関心を持たれている方が多い。行政の中身に興味を持ち、公開の場で議論・傍聴することは重要である。
- ・ 仕分けの本来の目的は市民目線で事業の必要性等を議論し、次につなげることであることから、仕分けの手法について、更なる検討が必要である。

## 3 添付資料

- ・ 平成 22 年度行政評価委員会審議経過
- ・ 平成 22 年度評価対象事業の選定方法
- ・ 平成 22 年度評価区分
- ・ 平成 22 年度行政評価委員会名簿
- ・ 諮問書（写）

別紙

## 岩沼版事業仕分け結果 (公開事務事業評価)

事業番号	事業名	担当課	評価						結果
			廃止 休止	民営 化等	改善		維持	強化	
					委託	見直し			
1	総合健康増進事業 (グリーンピア岩沼)	総務部 グリーンピア管理室			1	3	2	1	改善 (見直し)
2	市税収納管理事業	総務部 税務課					2	5	強化
3	ハナトピア岩沼管理事業	市民経済部 農政課	3	2		2			廃止・休止
4	公設小売市場維持管理事業	市民経済部 商工観光課	1			5		1	改善 (見直し)
5	母子保健事業	健康福祉部 健康増進課					5	2	維持
6	介護予防ケアマネジメント事業 (地域包括支援センター)	健康福祉部 介護福祉課				1	6		維持
7	矢野目地区浸水対策事業	建設部 土木課					7		維持
8	歩いて暮らせるまちづくり事業 (図書館周辺道路整備)	建設部 土木課					6	1	維持
9	小学校管理備品整備事業	教育委員会 教育総務課				1	2	4	強化
10	図書館運営事業	教育委員会 生涯学習課			1	1	2	3	強化

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	1	<b>総合健康増進事業</b> （担当部署 グリーンピア管理室）
委員会評価	<b>改善（見直し）</b>	
総括コメント		
<p>事業自体は市民に支持されているものの、利用者のデータを把握しきれていないことや事業に係る費用に対して利用者が少ないことについては見直しが必要である。また、プールを利用できない人の健康増進についても対策が必要である。管理業務委託が3年に一度なので、その間に改良・改善について取り組んでいただきたい。</p>		
評価詳細		
委託1、改善（見直し）3、維持2、強化1		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間との提携を更に進めることが必要。成果・実績を具体的に示し分析をしてほしい。</li> <li>・「温水プールの経営」が市民全体の健康増進になっているか疑問である（泳げない市民へのサービスはどのようにしているのか）支出の半分の収入があるとはいえ、民営化を視野に入れる必要がある。</li> <li>・介護保険事業等とのリンクが必要ではないか。</li> <li>・可能性が大きいだけに、もっと若者から高齢者まで利用できる工夫が必要。</li> <li>・里山を利用したプログラムや要介護以前の高齢者のためのプログラムを追加してはどうか。</li> <li>・素晴らしい環境や設備があり、まだいろいろな可能性がある。今後は幅広い年齢層の利用促進を図ってほしい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	2	市税収納管理事業（担当部署 税務課）
委員会評価	強化	
総括コメント		
<p>税の公平負担の原則により、未納者対策を考えてほしい。また、できるだけ効率的な収納対策をしていただきたい。</p>		
評価詳細		
維持2、強化5		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意識改革にもっと力を入れる必要がある。</li> <li>・地道な事業だが引き続き努力をしてもらいたい。</li> <li>・積極的に未納分を減らす取組みをしてもらいたい。</li> <li>・納税貯蓄組合への加入促進。</li> <li>・行政サービスと税との関係を明確にしてPR要する。年金、税金、保険を総合的に考える必要がある。</li> <li>・市民が受けているいろいろなサービスは税金が根幹となっている。税金は納めるべきものであり、とられるものではないという意識改革が必要だと思われる。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	3	ハナトピア岩沼管理事業（担当部署 農政課）
委員会評価	廃止・休止	
総括コメント		
<p>この施設は事業目的が現状に合わず、妥当性がなくなっている。当初は農業振興として始まったようだが、見込み通り人が入らず、需要と供給のバランスが崩れている。このような施設に対し、これまでどおりの税金による維持の必要性はあるか。利用者数が計画通りにいかないのであれば、その時点で見直しが必要だったが、10年経っても改善が見られない。市民が、現状のままでの施設であれば不要と言っているサインかもしれない。今後の方向性を早急に出していただきたい。</p>		
評価詳細		
廃止・休止3、民営化等2、改善(見直し)2		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バブル時の事業を維持することが目的化している。産直施設として部分的に独立すべき。</li> <li>・将来像への見通しがみられない。</li> <li>・市が行うべき意味がない。現状は市民のやすらぎの場とはなっていない。</li> <li>・市民のふれあいの為としての役割は終了している。農業振興等の目的で民間の力を借り、立て直すべき。金蛇水神社との連携も必要。</li> <li>・「農業園芸施設」の開設 (a)ハーブ栽培及び調整(b)薬草の栽培及び調整(c)山菜、キノコの栽培(d)話題に出ている珍しい野菜・果樹・花の栽培など指導者なしでは体験できないプログラムを実施してはどうか。</li> <li>・改修等をするのであれば、収益の上がる施設に変えてほしい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	4	公設小売市場維持管理事業（担当部署 商工観光課）
委員会評価	改善（見直し）	
総括コメント		
<p>空き店舗状態が長く続いており、周辺の人々にとって印象の薄い場所となっている。高齢者の買い物の場として必要な施設であることは認めるが、公設市場以外の活用方法も検討するべきである。市民の支持を得られるような施設運営を行っていただきたい。</p>		
評価詳細		
<p>廃止・休止1、改善（見直し）5、強化1</p>		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設としては時代に合わない。施設の老朽化もあり廃止を決断する時期にきている。市民ニーズに施設が合わないのではないか。</li> <li>・当面、空店舗対策を優先すべき。いずれ施設を丸ごと民営化する等の対策をとれないだろうか。テナントも行政も疲れている印象を受けた。</li> <li>・改善の方策が見えないが、公設として市が手離せない事業であれば、建物の維持以外は民間に委託するか、サービスの見直しを考えてほしい。</li> <li>・集客をねらう方法はないか検討すべき。</li> <li>・空きスペースを公共用業務に供してはどうか。（高齢者にサービス提供する事業プログラム ダンス、歌唱教室、太極拳など）</li> <li>・公的サービスにより事業の立直しが必要。立地として高齢化社会において有効な場所。</li> <li>・高齢者向けの施設や行政の機能を持たせた施設になればよい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	5	<b>母子保健事業</b> （担当部署 健康増進課）
委員会評価	<b>維持</b>	
総括コメント		
<p>今後ともこの事業を継続し、子どもを産みやすい、子育てをしやすい環境をつくっていただきたい。</p>		
評価詳細		
維持5、強化2		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の為にも、この事業は大切である。</li> <li>・家庭環境が厳しくなっているだけに、積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・子供は岩沼の宝なので、少しでも拡充して行ってほしい。</li> <li>・母子保健事業は岩沼の将来につながる事業であり、可能な限り無駄を省いて強化していくべき。次世代を担う子供への事業なので最優先してほしい。</li> <li>・受ける側も満足しているということが分かった。今後も継続してほしい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	6	介護予防ケアマネジメント事業（担当部署 介護福祉課）
委員会評価	維持	
総括コメント		
<p>市民の方に喜んでいただけるような工夫があれば、もっと良くなるのではないか。直営で行うよりも委託の方が安いとのことだが、コスト面だけでなく総合的な判断に基づいて事業を実施していただきたい。</p>		
評価詳細		
改善（見直し）1、維持6		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進事業とのリンクが必要。地域包括支援センターはきびきびした対応で好感が持てる。</li> <li>・制度改革や社会情勢に合わせて、不断の改善も続けてほしい。</li> <li>・事業内容の更なる充実を期待する。</li> <li>・介護保険法に基づく事業ということで、現状維持を図りながら前向きに考えること。</li> <li>・民間活力の原動力は競争原理である。しかし、福祉行政の原点に帰り、高齢者に対するサービスにつき、各地域包括支援センター間に偏差を生じないように運用されたい。各地域包括支援センター間における連絡調整を活性化することが有効。</li> <li>・今後ますます高齢化が進む中で、さまざまな連携、努力が必要である。</li> <li>・特定高齢者以前の方も対象としてほしいという希望はあるが、実際の現場では手が回らない状況は理解できる。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	7	矢野目地区浸水対策事業（担当部署 土木課）
委員会評価	維持	
総括コメント		
<p>浸水対策は行わなければならない、これまではしっかりできている。今後も、必要などころがあれば整備を行っていただきたい。</p>		
評価詳細		
維持7		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢野目地区以外でも下水道の整備を着実に進めてほしい。</li> <li>・浸水対策事業は、今後も継続されるということで、必要な事業である。</li> <li>・雨水浸水対策は市民にとって有益なので継続して事業を行ってほしい。</li> <li>・治水事業は市民生活の基本となるものであり、矢野目地区浸水対策事業をモデルとして、事業の展開を図っていく。各河川の水門、揚水場の管理等の表示が必要。（どんな事にどのように使うのか）</li> <li>・市の基盤となるような事業なので、しっかり進めてほしい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	8	歩いて暮らせるまちづくり事業（担当部署 土木課）
委員会評価	維持	
総括コメント		
<p>道路整備のグレードが高く贅沢だという印象はあったが、新図書館を中心とするこのような整備は必要である。ただし、他の地域との差ができてしまうことや維持管理費が高額であることなども考えながら事業を継続していただきたい。</p>		
評価詳細		
維持6、強化1		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画に則り、事業を継続していく必要がある。</li> <li>・図書館管轄部署等との調整が必要。</li> <li>・矢野目地区の浸水対策事業同様に治水や道路整備事業は、市の根幹となる事業なので着実に進め、他へも普及させてほしい。</li> <li>・今後、生活道路の整備がますます必要になると思われるので、生活者の視点で整備を進めてほしい。図書館利用者の車両については、正確な予測が必要ではないか。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	9	小学校備品管理事業（担当部署 教育総務課）
委員会評価	強化	
総括コメント		
<p>予算の制約等はあるものの、児童の学習環境の整備の充実を図るとともに、教職員の執務環境の整備の充実も考慮していただきたい。</p>		
評価詳細		
改善(見直し)1、維持2、強化4		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に老朽化が進んでいる。着実に、計画的に整備を行う必要がある。</li> <li>・教育予算は決して十分ではない。子供の教育環境をもっと重視してほしい。</li> <li>・教職員の執務環境の整備、緑化による暑気対策などを行ってみてはどうか。</li> <li>・教員の福利厚生も含め強化すべきである。</li> <li>・次世代を担う子供達への配慮は最優先で計画的に行ってほしい。(他の事業を削ってでも)</li> <li>・限られた予算の中で子供たちにどのようなことをしてあげられるかという考えで進めてほしい。</li> </ul>	

平成21年度実績に対する評価委員会評価

事務事業名	10	<b>図書館運営事業</b> （担当部署 図書館）
委員会評価	<b>強化</b>	
総括コメント		
<p>多くの市民が新図書館に大きな期待をしている。市民の誇りとなる図書館とするため、図書館の運営については、市民が満足できるような工夫をしていただきたい。</p>		
評価詳細		
改善(委託)1、改善(見直し)1、維持2、強化3		
個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託を検討する価値がある。選書に市民が参加する部分があってもよい。コンピュータ化等によりIT化、デジタル化を進める必要がある。</li> <li>・新図書館への市民の期待も大きいので、常に事業を見直し、可能な限り民間委託を図ってほしい。</li> <li>・「児童」に愛される図書館を希望する。絵本の配付、絵本の語り聴かせの延長上に、絵本体験から得たイメージをさらに膨らませ発育させるには、制作的プログラムを学習することが有効かと思う。</li> <li>・新しい図書館のスタートに向けて、充実した内容になるために強化した方が望ましい。</li> <li>・文化、教育の面からも、文化のバロメーターになるよう強化すべき。</li> <li>・市民の期待が大きいだけに、市民参加型を強化してほしい。</li> </ul>	

## 平成22年度行政評価委員会審議経過

平成22年 8月 9日 第1回委員会

- ・正副委員長の互選
- ・諮問
- ・平成21年度事業概要について
- ・市の行政評価及び公開事務事業評価について
- ・平成22年度評価対象事務事業の選定方法について

8月23日 第2回委員会

- ・平成22年度岩沼版事業仕分け対象事務事業の選定
- ・今後の進め方について

8月31日 第3回委員会

- ・所管部署へのヒアリング調査（10事業）

9月11日 第4回委員会

- ・現地視察（市内7か所）
- ・評価区分及び評価表について
- ・質疑の手法等について

9月27日 第5回委員会

- ・事業仕分けの進行及び様式等について

10月 3日 第6回委員会

- ・岩沼版事業仕分け

11月 8日 第7回委員会

- ・答申書作成
- ・答申

# 平成 2 2 年度評価対象事業の選定方法

市が内部評価を行った 3 1 5 事務事業のうちから、平成 2 2 年度評価を行う 1 0 事業を下記により選定した。

## 1 絞り込み基準を決定し、3 1 5 事業から 7 5 事業へ

(1) 委員会承認による次の基準により、事務局で 5 0 事業程度を選定

- ※ 事務局選定基準
- ①事業費 3 0 0 万円以上
  - ②市単独事業
  - ③施設の維持管理等のみの事業を除く
  - ④給付等の制度事業を除く
  - ⑤同種事業を除く
  - ⑥特定地区対象の事業を除く
  - ⑦上記の結果により対象となる事業がない課について除かれた事業から追加

この基準により 4 7 事業を選定

(2) 3 1 5 事業一覧から、各委員独自の選定により 2 8 事業を選定

## 2 7 5 事業から 1 0 事業を決定

- (1) 7 5 事業について、内部事務事業評価結果等詳細資料に基づき内容等を確認、検討
- (2) 7 5 事業から各委員が 1 事業を選定
- (3) 担当部署のバランスを考慮し、7 5 事業から 3 事業を委員会で選定
- (4) 上記 1 0 事業を委員全員一致で承認

## 平成 22 年度評価区分

平成 22 年度評価の区分は次のとおりです。

- (1) 「廃止・休止」  
事業の目的が現状に合わない、妥当性がない等の理由により廃止（統合を含む）又は休止することが適当である。
- (2) 「民営化等」  
行政の役割が終了、民間の方が効率的等の理由により事業を民間又は地域等に移管することが適当である。
- (3) 「改善」  
事業を民間に委託する、事業の縮小や事業手段の見直しをする等の方法により事業を改善して実施することが適当である。
- (4) 「維持」  
現行どおりの事業を継続することが適当である。
- (5) 「強化」  
費用や人員の増加により事業を強化することが適当である。

## 岩沼市行政評価委員会委員名簿

役職	氏名	備考
委員長	阿留多伎 真人	尚綱学院大学教授
副委員長	佐藤 雅子	宮城教育大学教授
委員	小野 宏明	岩沼市商工会長
委員	菊池 瑞子	市民公募委員
委員	木原 幹郎	弁護士
委員	国井 隆平	元あぶくま青年会議所理事長
委員	手塚 祐次	市民公募委員



## 諮 問 書

本市において、新総合計画に基づいて実施した各種政策及び施策を構成する  
事務事業の妥当性、有効性などについて評価を行っていただきますようお願い  
いたします。

平成 22 年 8 月 9 日

岩沼市行政評価委員会委員長 殿

岩沼市長 井 口 経 明